

会報

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



松田美枝さん 絵 (風)

第 218 回 例会 1963.10.8 (火) 晴

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
 事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

Person to Person
 Club to Club
 District to District

次 回 例 会 予 定

10月22日 (火) 地区年次大会に出席して 参加会員
 10月29日 (火) スライド観賞会 国際奉仕委員

○卓 話

交通安全運動について 菊池知二郎氏

○出席報告

本日の出席数	45名	欠席者	広瀬君、石井君、金井(勝)君、大野君、佐藤(伊)君、津田君、渡部君
出席率	85.42%		
前回の出席数	72.92%	メンバー	長谷川君 (東京北R.C.)
修正出席数	40名	クラブ	石黒君 (札幌R.C.)
修正出席率	89.58%	クラブ	五十嵐(三)君 (酒田R.C.) 皆川君 (ク) 佐藤(伊)君 (ク) 鈴木君 (ク) 斎藤(栄)君 (札幌R.C.) 鷲田君 (東京銀座R.C.)

○司 会

池 内 会 長

○ソング

奉仕の理想 リーダー 安藤君

○ゲスト

菊池知二郎氏 笹原桂一氏

○ビジター

菅原利郎君 (酒田R.C.)

○報告事項

○会員拡大については現在まで数名の入会内諾を得て

居りますが、更に立派な会員を得られるよう一層の御努力を願いたい。

○来る10月22日正午より鶴岡ライオンズクラブの発会式があり、当クラブより会長出席し祝詞を述べる予定である。

○予ねてSAAより計画された例会場入口に掲げる歓迎案内板が出未ましたので、会場床の間に掲示しました。御覧願います。

○卓 話

交通安全運動について

鶴岡警察署長 菊池知二郎氏

秋の交通安全運動は来る10月21日から30日までの10日間全国一斉に行なわれることになっています。その内容はお手元に配布したパンフレットに詳しく記載されてありますが、その前に鶴岡警察署管内の交通事故についてお話し致します。

1月から9月までの事故総計を見ますと、事故総計224件、死者7名、傷者230名、物損421万円となつて居り昨年同期に比較して発生件数では30数件、死者では2名傷者では数名が夫々減少しているのので稍々愁眉をひらいています。

然し乍ら山形県全体としては事故件数においては昨年より若干減つてはいるものの、死亡者の数は非常に増加し、その増加率は全国一位か二位を争う状況であり、まことに遺憾千万であります。

今年度の交通安全運動は月並のおぎなりの行事となつては世間の物笑いとなるに過ぎませんので、何とか効果の盛り上るよう、事故は昨年度より少なくとも20%減死亡者は1名も出さぬよう努力したいものです。

本運動の推進本部長には知事が当り、県を始め教育庁市町村、各教育委員会、安全会議、陸運事務所、労働基

準監督署、国鉄、交通安全協会、県警など一丸となつて主催し、次の実施目標達成に努力することに決定しています。

即ち第1には安全な横断の確保、第2には安全な踏切道通行の確保、第3には車両の完全整備の励行、第4には不正な道路利用の排除となつていきます。

今回は特に公務員が率先して交通法規を守り、道路の右側通行の厳守や道路の横断には必ず横断歩道をわたるとか、先づ身近な交通道徳に範を示そうではないかと申し合わせています。安全教育は仲々困難でありますので、学校、職場、家庭などでも折に触れ大いに啓蒙して頂きたい。

鶴岡市繁華街の自動車の混乱についても何んとか解消したいと考え、近く若干の交通規制を実施したいので準備中であります。交通規制を行なっていないのは類似の都市では鶴岡市だけであり、他に比べ立ちおくらせています。

皆様の御協力により、鶴岡市が交通模範都市となるよう私の悲願に努力致したいと思ひます。何卒各位の御支援御協力をお願い致します。

○五分間スピーチ 荘司繁太郎君

柏戸関の今回の全勝優勝は、郷土の皆様と共に心からお喜び致します。柏戸は三場所休場のため精神的にも物質的にも、並々ならぬ苦しみを味わい、超人的な努力精進を行なつて輝かしい勝利をかち得たものと思ひます。全勝同志の両横綱が千秋楽に決勝戦を行なうことは、相撲史上でも珍らしいことで、千歳一遇のこのチャンスに大鵬が八百長で勝ちを譲るなどは全く考えられない。

これを観戦していた相撲通の話によれば、立合の前に大鵬は非常に緊張して体を固くし、体や手に小刻みな振りが認められるほどであつたし、又大鵬が優勝すれば親方が取締役に昇進するだろうとの風聞もあつたあのチャンスに、大鵬が故意に柏戸へ勝ちを譲るなどはあり得ない。

柏戸の無慾の速攻により、大鵬に自分の相撲をとる時間を与えなかつたのが勝因と確信します。今後共一層の御支援をお願い致します。

○一人一筆 嗜好米 広瀬健吉

農業基本法が成立したのは、今から2年前と記憶している。この法案が成立する前後、曲り角にきた農業経営農業構造改革等、盛んに言葉にされて、明日にも大きな変革を無余儀される様な印象を強くしたものである。

今日その必要がなくなつた訳でもないだろうが、それ程口にされなくなつた様な感じである。処が最近朝のラジオで3回ばかりに亘つて山形県の米の不味い事が放送されて、農業県、農村都市として誠に寒心に堪えない。不味い山形県米の中で荘内米はまあいい方だとの事で安心はしておれない気持である。

戦前寿司米は青森県の黒石米と荘内米が珍重されておつた時代の為にも、今の汚名は返上したいものだ。日本全国工業の面のみで生きてゆける訳のものでもないから夫々の特異性を發揮して發展して行かなければならないから、山形県の場合は、今後共農業、観光県として伸びゆく事が尤も賢明であろうと思ふ。

然し飽く迄も狭隘な国土の日本の場合、後進国の東南亜への工業輸出の飛躍を考える時、お米位はむしろ外米として輸入して、パーターシステムを採用してゆく事も考えられる。健康の面からも多量の白米をとる事は好ましくないと云う。医学上のデータでも示されている様に、世の中の文化の向上と平行して、生活水準の向上は食生活の上にも、大きく変つてきている事を認めなければならない。お米による満腹感を感じなければならない層も勿論あるのだが、昔とは大分違つたものになつてきているものと思ふ。この辺で一つ、多収穫のみを目標とせず、日本一美味しいお米を作る事を真剣に考えてみたらどうだろう。人間が量よりもカロリーに重点をおく様に変つてきており、腹一杯喰べるお米でなく、むしろ嗜好米としてのお米の時代にならないとも限らない。腹一杯のお米は後進国から入れて、内地米は寿司、すき焼井と云う様に、海外旅行団の観光的な面からも、嗜好米として、江戸前寿司は、荘内米でなければ駄目だと云われる迄美味しい米を作つてみる事だ。

そうする事で、多収穫よりも、採算的にも合わせてゆく事が出来ないだろうか。農繁期には猫の手も借り度い程の人手不足、しかし、これもやがて構造改善の面から農業法人の誕生、農業機械の著しい發展で変革を見てゆく事は必要だ。

そうこうしてお米が、嗜好米として考えられてゆく様に畜産、酪農、果樹への大きな進出が揺がない明日への幸せを齎してくれる事と思ひます。

○幹事報告

○会報到着 東京、郡山、村上各R・C

○仮クラブ設立

東松山R・C 例会日 毎週水曜日12.30~13.30
例会場 埼玉銀行東松山支店内
事務所 埼玉県東松山市松山4381

○例会時間臨時変更

寒河江R・C 10月31日の例会は午後4時より
開会会場は変更なし

○ニコニコ箱

五十嵐三郎君 プロレス興業が成功して

張 紹 淵君 胃痛についてのスライド講演が出来て

荘司繁太郎君 柏戸関の全勝優勝を祝して

○本日の献立 さしみ(ぶり、羽口、芝えび)

焼物(鮭、おろし)

味噌汁(なめこ、豆腐、みつば)